

学校の概要

学校名	浜松市立中郡小学校							計	教員数
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	17	23
学級数	2	3	3	3	3	3	0		
児童数	80	87	91	91	99	86	0	534	

研究の概要

1 研究主題

かかわりの中で、個の確かな学びを目指して  
～習熟度別少人数指導の積極的な推進～

2 研究内容与方法

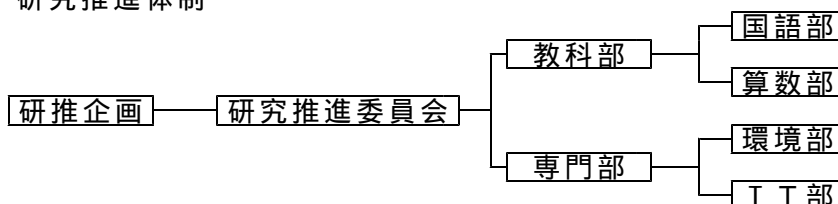
(1) 実施学年・教科

1～6年生算数(子供の理解や習熟度の差に対応するため)  
1～6年生国語(すべての学習の基盤となる国語力の育成を図るため)

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 習熟度別少人数指導によるきめ細かな指導と教材開発</p> <p>仮説 習熟度別少人数指導を推進し、個に応じたきめ細かな指導をすれば、児童の学習意欲が高まり、基礎基本の確かな定着が図られ、学力向上が見られるであろう。</p> <p>研究内容・方法 指導方法・指導体制の工夫・改善 弾力的な時間運用を目指した日課 指導方法の工夫改善(習熟度別学習・TT指導等)の推進を目指した時間割</p> <p>習熟度別学習 高学年での一部教科担任制 習熟度別学習に対応した教材の開発</p> <p>評価 主として算数科においての習熟度別少人数指導の実践 本校評価規準を踏まえた確かな個の見取り 一人一人の学習内容定着のデータを活用した確かな個の見取り 自己評価カードの見取りを生かした支援の充実 補助簿を活用した評価システムの構築</p>
平成15年度	<p>テーマ 習熟度別少人数指導の推進と授業の質的な改善</p> <p>仮説 習熟度別少人数指導を推進し、個に応じたきめ細かな指導を進めれば、個の確かな学力が図られるだろう。さらに、追求を活性化する体験的な活動や問題解決的な学習を推進すれば、確かな学力がついていくであろう。</p> <p>研究内容・方法 指導方法・指導体制の工夫・改善 算数科、国語科における習熟度別少人数学習の指導法の確立</p> <p>習熟度別少人数指導 習熟度別少人数指導に対応した教材の開発</p> <p>評価 評価を生かした指導の改善 かかわりを大切にされた授業の充実 相互交流による高め合い 魅力ある学習材との出会い</p> <p>補充・発展的な学習や家庭学習の望ましいあり方</p>
平成16年度	<p>テーマ 生きる力を育み、確かな学力の向上のための指導法の確立</p> <p>仮説 習熟度別少人数指導を核とした質の高い授業を積み重ねていけば、確かな学力が付き、生きる力を育むことができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 個の学力とよさを伸ばす習熟度別少人数指導の定着 かかわりの中で個の確かな学びを保障する授業の充実 研究成果の検証方法の開発</p>

(3) 研究推進体制



教科部の他に専門部を設け、学習環境を整備する環境部と、ホームページの充実や学力の定着をデータ化するIT部に分けた。教師全員が教科部・専門部のどちらにも所属することとし、研修の充実を図った。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

- ・ 昨年度、習熟度別少人数指導体制が整い、本年度はその指導法の積極的な推進及び質的改善に取り組んだ。本校の習熟度別指導の基本的な流れができ、共通理解が図れたことや、教師一人一人の授業改善の意識が高まったことにより、各コースの指導にも深まりが見られた。【授業公開冊子】
- ・ 算数科では、習熟度別少人数指導の授業を通して学習内容の定着が見られた。【資料1】
- ・ 国語科の「書く」「読む（説明的文章）」領域で、習熟度別少人数指導を取り入れた。個に応じたきめ細かな指導を行うことができ、児童の意欲が高まり文章表現力も向上してきた。また、文章理解力の育成も図られつつある。【資料1】
- ・ 市の学力調査の結果では、昨年度から習熟度別少人数指導を行っている4年生以上の学年で算数の正答率が市の正答率を上回った。また、領域別に見ても前年度と比較して定着度が上がっているものが多かった。【資料2】
- ・ 学習カードからの「情意面の数値化」を試みたことにより、その時間の定着度との関係が分析でき、児童の自己評価能力について検証できるようになった。【資料3】
- ・ 3年生以上の学年で、習熟度別少人数学習が「とてもよく分かる」「よく分かる」と答えた児童は、89%に達した。（昨年度より5%アップした。）【資料4】
- ・ 教育方針説明会や学校だより、保護者への授業公開を通して、現時点で96%の保護者が習熟度別学習を「とてもよい」「よい」と答えている。（昨年度より6%アップした。）【資料4】

2 今後の課題

- ・ 研修テーマである「かかわりの中で」を意識した授業を行うことにより授業改善を図り、より質の高い授業を心掛けていく。
- ・ 国語科における習熟度別少人数指導のコース編成を行う際の根拠となる児童の力をどう押さえるかを、本校なりに確立していく。
- ・ 評価のデータベース化を基にして、個に応じた指導・支援の充実を更に図っていく。

学力等把握のための学校としての取組

- ・ その時間の学習内容の定着をみるチェックプリントや情意面を調べる学習カードによる自己評価を実施し、児童一人一人の毎時間の実態を見取り、データベース化することにより、次時の指導に生かす。
- ・ 単元途中または単元末において定着度テストを実施し、毎時間のチェックプリントによる定着度と比較しながら把握し、指導に生かす。
- ・ 年1回の県学力調査と市学力調査の結果から、県、市との比較をしたり、領域別正答率をグラフ化したりして比較検討することにより、今後の指導に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究会、説明会の開催実績及び開催予定

- <平成14年度> 保護者に向けた授業公開及び習熟度別少人数指導説明会
- <平成15年度> 授業公開（市内対象、11月28日実施）  
算数科と国語科の習熟度別少人数指導の授業を公開した。市内だけでなく、県内外から参加者があり、全体で150名を超える参加者があった。習熟度別少人数指導について大変参考になったという感想を多数いただいた。
- <平成16年度> 研究発表会（市内対象、10月22日予定）

H P作成の実績及び今後の予定

- <平成14年度> 3年間を見通した研修の方向性、14年度の実践事例
- <平成15年度> 本校の習熟度別少人数指導の押さえと15年度の実践事例
- <平成16年度> 16年度の実践事例、3年間の成果と今後の課題

浜松市立中郡小学校 ホームページアドレス <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/nakagori-e/>  
メールアドレス [nakagori-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp](mailto:nakagori-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp)

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校	
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級	
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他	
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作 理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無